

# 居心地よく… 入社21年目

## 接客で若手の模範に

越野運送(越野泰弘社長、大阪市都島区)で入社21年目を迎える藤田貢氏は、「車の運転が好きで長距離輸送も苦にならない」という。21年間も仕事を続けられた秘訣を「会社の居心地が良い。一緒に働くメンバーが素晴らしい。人の入れ替わりがあまりない。職場環境に恵まれている」と話す。



越野運送  
藤田貢氏

問題なくこなしてくれている。普段の仕事も、交通状況に応じた急なルート変更も臨機応変に対応できることから、同社で配車係を

している河野守忠営業部長も信頼を寄せる。会社だけでなく、取引先からも高評価を得ている藤田氏。明るく元気なあいさつで、接客レベルも高いことから、同社の新規の仕事に関しては、ほぼ藤田氏に初回の仕事をお願いするという。顧客に好印象を与える藤田氏のあいさつは、「一人としての基本的なマナーで、第一印象が大切」と考えているためだ。また、初めての取引先では細心の注意を払い、何をすれば喜んでもらえるかを常に考えている。「ただ荷物を届けるだけでなく、相手の立場に立って喜んでもらえることをしたい。自分のモチベー

ションにもつながる」と語る。さらに、20年以上勤めたことで、仕事も落ち着いて取り組めるようになったと感じている。「入社当時は運転も荒かったが、長年仕事をして気付いたことは、いくらスピードを出しても到着時間はあまり変わらない」と強調する。「安全運転はプロとして当たり前前のこと。遅れそうなとき

は報告し、心を落ち着かせて運転することが一番のポイント」と話す。今後の目標として、「40歳を過ぎ、体力的に衰えを感じている。若手には体力面で負けているが、接客対応は負けていないと自負している。これからは若手の模範となり、アドバイスなどもできるようにしていきたい」と話す。(中村優希)